

CASBEE-新築(簡易版)2010年追補版Ver.
 (仮称)宇治市木幡中村計画 新築工事

欄に数値またはコメントを記入

■使用評価マニュアル CASBEE-新築(簡易版)2010年追補

■評価ソフト: CASBEE-NCb_2010bpi&bei(v

スコアシート		実施設計段階		建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体
配慮項目	環境配慮設計の概要記入欄	評価点	重み係数	評価点	重み係数			
Q 建築物の環境品質								2.8
Q1 室内環境			0.40					3.2
1 音環境		3.0	0.15	2.8	1.00			2.8
1.1 騒音		3.0	0.49	3.0	0.49			
1 1 室内騒音レベル		3.0	1.00	3.0	0.50			
2 設備騒音対策		-	-	3.0	0.50			
1.2 遮音		3.0	0.49	2.6	0.49			
1 1 開口部遮音性能		3.0	0.92	3.0	0.30			
2 界壁遮音性能	界壁はRC壁と乾式間仕切壁(カタログ添付)	3.0	0.08	3.0	0.30			
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)	床スラブ厚180mm、スラブ面積50㎡、塩ビシート仕上げ	-	-	2.0	0.20			
4 界床遮音性能(重量衝撃源)	床スラブ厚180mm、スラブ面積50㎡、塩ビシート仕上げ	-	-	2.0	0.20			
1.3 吸音		3.0	0.03	3.0	0.03			
2 温熱環境		3.0	0.35	3.0	1.00			3.0
2.1 室温制御		3.0	0.50	3.0	0.50			
1 1 室温		3.0	0.59	3.0	0.62			
2 負荷変動追従制御性		-	-	-	-			
3 外皮性能	省エネ措置の届出書1~3面添付	3.0	0.36	3.0	0.38			
4 ゾーン別制御性		3.0	0.05	-	-			
5 温度/湿度制御		-	-	-	-			
6 個別制御		-	-	-	-			
7 時間空調に対する配慮		-	-	-	-			
8 監視システム		-	-	-	-			
2.2 湿度制御		3.0	0.20	3.0	0.20			
2.3 空調方式		3.0	0.30	3.0	0.30			
3 光・視環境		3.1	0.25	3.4	1.00			3.3
3.1 昼光利用		1.8	0.30	3.5	0.30			
1 1 昼光率	計算書添付	1.0	0.60	5.0	0.51			
2 方位別開口		-	-	1.0	0.26			
3 昼光利用設備		3.0	0.40	3.0	0.23			
3.2 グレア対策		3.0	0.30	4.0	0.30			
1 1 照明器具のグレア		-	-	-	-			
2 昼光制御	庇とカーテンにより昼光制御しています。	3.0	1.00	4.0	1.00			
3 映り込み対策		-	-	-	-			
3.3 照度		3.0	0.15	3.0	0.15			
3.4 照明制御	共用廊下等はプログラムタイマーによる自動照明制御	5.0	0.25	3.0	0.25			
4 空気質環境		3.5	0.25	3.7	1.00			3.6
4.1 発生源対策		4.0	0.59	4.0	0.63			
1 1 化学汚染物質	住居部分はすべて、共用部分はほぼすべてF☆☆☆☆を使用	4.0	1.00	4.0	1.00			
2 アスベスト対策		-	-	-	-			
3 タニコビ等		-	-	-	-			
4 レジオネラ対策		-	-	-	-			
4.2 換気		3.0	0.39	3.3	0.38			
1 1 換気量	計算書添付	3.0	0.50	3.0	0.33			
2 自然換気性能		-	-	4.0	0.33			
3 取り入れ外気への配慮		3.0	0.50	3.0	0.33			
4 給気計画		-	-	-	-			
4.3 運用管理		1.0	0.03	-	-			
1 1 CO ₂ の監視		-	-	-	-			
2 喫煙の制御		1.0	1.00	-	-			
Q2 サービス性能		-	0.30	-	-			2.9
1 機能性		3.4	0.40	2.4	1.00			2.9
1.1 機能性・使いやすさ		4.0	0.40	2.1	0.60			
1 1 広さ・収納性		-	-	3.0	0.13			
2 高度情報通信設備対応		-	-	2.0	0.87			
3 バリアフリー計画	あらゆる入居者が快適に生活できるように計画しています。	4.0	1.00	-	-			
1.2 心理性・快適性		3.0	0.30	3.0	0.40			
1 1 広さ感・景観	居室の天井高さは2.40mです。	-	-	3.0	0.50			
2 リフレッシュスペース		-	-	-	-			
3 内装計画		3.0	1.00	3.0	0.50			
1.3 維持管理		3.0	0.30	-	-			
1 1 維持管理に配慮した設計		3.0	0.50	-	-			
2 維持管理用機能の確保		3.0	0.50	-	-			
3 衛生管理業務		-	-	-	-			
2 耐用性・信頼性		3.0	0.31	-	-			3.0
2.1 耐震・免震		3.0	0.48	-	-			
1 1 耐震性		3.0	0.80	-	-			
2 免震・制振性能		3.0	0.20	-	-			
2.2 部品・部材の耐用年数		3.0	0.33	-	-			
1 1 躯体材料の耐用年数		3.0	0.23	-	-			
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔		2.0	0.23	-	-			
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔	床:ビニル床シート、壁・天井:ビニルクロス	4.0	0.09	-	-			
4 空調換気ダクトの更新必要間隔	SPD(スパイラルダクト)を使用	3.0	0.08	-	-			
5 空調・給排水配管の更新必要間隔	空調配管:VP、給水配管:HVPを使用	4.0	0.15	-	-			
6 主要設備機器の更新必要間隔		3.0	0.23	-	-			

2.4 信頼性			3.0	0.19			
1	空調・換気設備	中央式空調設備を持たない。	3.0	0.20		-	
2	給排水・衛生設備	大部分に節水型器具を設置。	3.0	0.20		-	
3	電気設備	電源設備の地下空間への設置なし。	3.0	0.20		-	
4	機械・配管支持方法		3.0	0.20		-	
5	通信・情報設備	電源設備の地下空間への設置なし。	3.0	0.20		-	
3 対応性・更新性			3.0	0.29	2.8	1.00	2.8
3.1 空間のゆとり			3.0	0.04	2.6	0.50	
1	階高のゆとり		3.0	0.60	3.0	0.60	
2	空間の形状・自由さ		3.0	0.40	2.0	0.40	
3.2 荷重のゆとり			3.0	0.04	3.0	0.50	
3.3 設備の更新性			3.0	0.92		-	
1	空調配管の更新性	中央式空調設備を持たない。	3.0	0.17		-	
2	給排水管の更新性		3.0	0.17		-	
3	電気配線の更新性		3.0	0.11		-	
4	通信配線の更新性		3.0	0.11		-	
5	設備機器の更新性		3.0	0.22		-	
6	バックアップスペース		3.0	0.22		-	
Q3 室外環境(敷地内)			-	0.30	-	-	2.2
1 生物環境の保全と創出			1.0	0.30		-	1.0
2 まちなみ・景観への配慮			3.0	0.40		-	3.0
3 地域性・アメニティへの配慮			2.5	0.30		-	2.5
3.1	地域性への配慮、快適性の向上		3.0	0.50		-	
3.2	敷地内温熱環境の向上		2.0	0.50		-	
LR 建築物の環境負荷低減性			-	-	-	-	2.8
LR1 エネルギー			-	0.40	-	-	2.4
1 建物の熱負荷抑制		デイスサービス部分はモデル建物法にてBPI _m :0.74、BEI _m :0.34、住居	3.1	0.39		-	3.1
2 自然エネルギー利用			3.0	0.20		-	3.0
2.1	自然エネルギーの直接利用		2.1	0.50		-	
2.2	自然エネルギーの変換利用	太陽光発電設備を設置	4.0	0.50		-	
3 設備システムの高効率化			1.5	0.39		-	1.5
集合住宅以外の評価(ERRIによる評価)		ERR換算値=71%	4.0				
集合住宅の評価			1.2				
4 効率的運用			3.0	0.03		-	3.0
4.1	モニタリング		3.0	0.50		-	
4.2	運用管理体制		3.0	0.50		-	
LR2 資源・マテリアル			-	0.30	-	-	2.9
1 水資源保護			3.0	0.15		-	3.0
1.1	節水		3.0	0.40		-	
1.2 雨水利用・雑排水等の利用			3.0	0.60		-	
1	雨水利用システム導入の有無		3.0	0.96		-	
2	雑排水等利用システム導入の有無		3.0	0.04		-	
2 非再生性資源の使用量削減			2.7	0.63		-	2.7
2.1	材料使用量の削減		2.0	0.07		-	
2.2	既存建築躯体等の継続使用		3.0	0.24		-	
2.3	躯体材料におけるリサイクル材の使用	-	3.0	0.20		-	
2.4	非構造材料におけるリサイクル材の使用	-	1.0	0.20		-	
2.5	持続可能な森林から産出された木材		2.0	0.05		-	
2.6	部材の再利用可能性向上への取組み	内装と設備が錯綜せず、解体等の際、容易に取り外せる。	4.0	0.24		-	
3 汚染物質含有材料の使用回避			3.6	0.22		-	3.6
3.1 有害物質を含まない材料の使用			3.0	0.32		-	
3.2 フロン・ハロンの回避			4.0	0.68		-	
1	消火剤	スプリンクラーのみのため対象外	-	-		-	
2	発泡剤(断熱材等)	建築物断熱用吹き付け硬質ウレタンフォームA種1(ノンフロン)使用	5.0	0.50		-	
3	冷媒	冷媒はR410Aを使用(カタログ添付)	3.0	0.50		-	
LR3 敷地外環境			-	0.30	-	-	3.2
1 地球温暖化への配慮		デイスサービス部分はモデル建物法にてBPI _m :0.74、BEI _m :0.34	3.6	0.33		-	3.6
2 地域環境への配慮			3.0	0.33		-	3.0
2.1 大気汚染防止		オール電化である。	5.0	0.25		-	
2.2 温熱環境悪化の改善			2.0	0.50		-	
2.3 地域インフラへの負荷抑制			3.2	0.25		-	
1	雨水排水負荷低減	雨水流出抑制に関する行政指導がない地域	3.0	0.25		-	
2	汚水処理負荷抑制		3.0	0.25		-	
3	交通負荷抑制	高齢者向き住宅ということで市と協議の上、自動車18台、自転車	4.0	0.25		-	
4	廃棄物処理負荷抑制		3.0	0.25		-	
3 周辺環境への配慮			3.1	0.33		-	3.1
3.1 騒音・振動・悪臭の防止			3.0	0.40		-	
1	騒音	騒音規制法対象外	3.0	1.00		-	
2	振動	新藤規制法対象外	-	-		-	
3	悪臭	悪臭規制法対象外	-	-		-	
3.2 風害・砂塵、日照阻害の抑制			3.0	0.40		-	
1	風害の抑制		3.0	0.70		-	
2	砂塵の抑制		1.0	-		-	
3	日照阻害の抑制		3.0	0.30		-	
3.3 光害の抑制			3.7	0.20		-	
1	屋外照明及び屋内照明のうちに漏れる光への対策	広告物照明を行っていない。チェックリスト添付。	4.0	0.70		-	
2	屋光の建物外壁による反射光(グレア)への対策		3.0	0.30		-	